

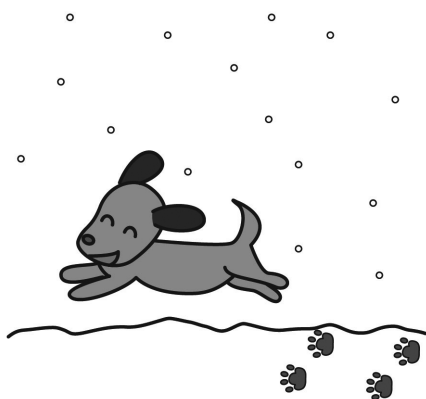
テキストの特色

- このテキストでは、4年生の2学期に学習したことがらをしっかり復習し、学力をきちんと身につけることを第一の目標としています。あわせて、3学期に学習することからも少し先取りして習い、新しい学期へのじゅんびとすることもねらいとしています。
- 「学習のまとめ」でおぼえるべきことがらをたしかめ、「いろいろな問題」や「練習問題」をとくことで、学力の定着をはかります。よゆうのあるときには、「発展問題」や「頭の体操」もといてみましょう。最後に、別紙の「確認テスト」で定着度を調べます。
- テキストの終わりには「総合テスト(1), (2) (各100点満点)」があります。自分の実力を試す「総仕上げのテスト」として取り組んでみて下さい。



も く じ

① 折れ線グラフと表	2
② 角の大きさ	6
③ 小数	10
④ 大きな数, がい数	14
⑤ 垂直と平行, 四角形	18
⑥ わり算, 分数	22
⑦ 面積	26
⑧ いろいろな文章題	30
● 総合テスト(1)(2)	33



1

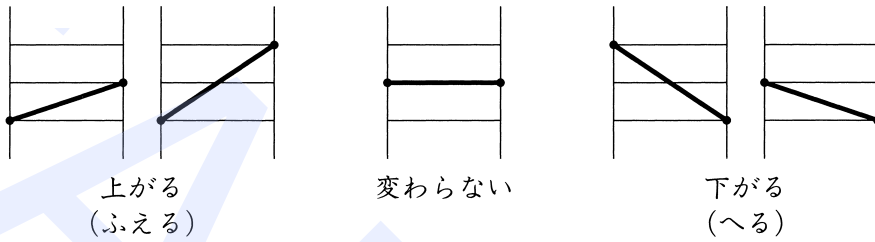
折れ線グラフと表

- ☑ 学習のポイント
 ①折れ線グラフ
 ②表

➡ 学習のまとめ

① 折れ線グラフ

ものの変わっていくようすを表すには、折れ線グラフを使う。折れ線グラフでは、線のかたむきで変わり方がわかる。



② 表

2つのことがらについて、右のように1つの表にまとめることがある。

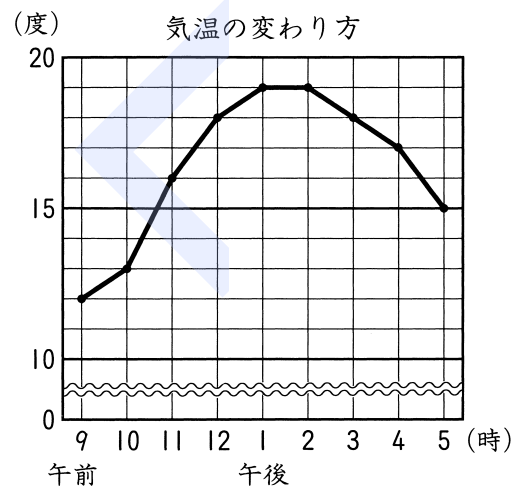
- ア…ピーマンもにんじんもすきな人
- イ…ピーマンがきらいでにんじんがすきな人
- ウ…ピーマンがすきでにんじんがきらいな人
- エ…ピーマンもにんじんもきらいな人

すききらい調べ (人)

		ピーマン	
		すき	きらい
にんじん	すき	ア 5	イ 4
	きらい	ウ 2	エ 8

1 【折れ線グラフ】 右のグラフは、ある日の気温の変わり方を表したものです。

- (1) 気温の上がり方がいちばん大きかったのは、何時と何時の間ですか。
- (2) 気温が変わらなかったのは、何時と何時の間ですか。
- (3) 気温が下がりはじめたのは、何時からですか。
- (4) 午後4時の気温は何度ですか。



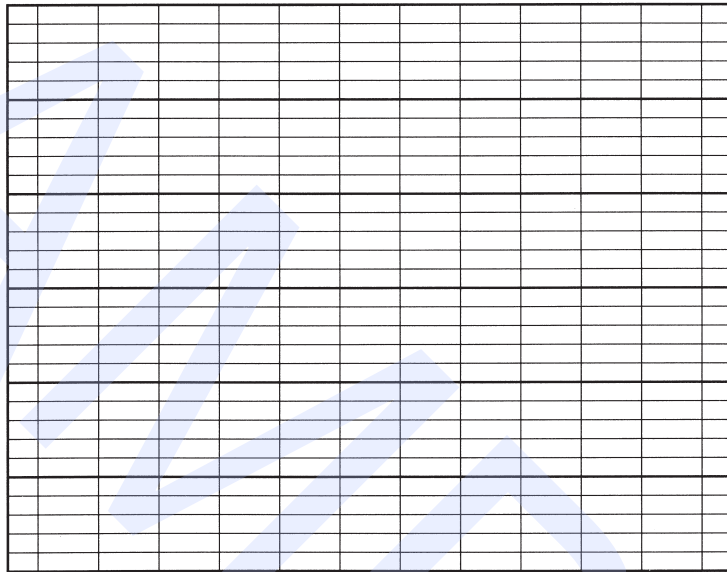
次に、いろいろな問題を解きましょう。

◆折れ線グラフ

2 次の表は、1年間の気温を調べたものです。これを折れ線グラフに表しなさい。

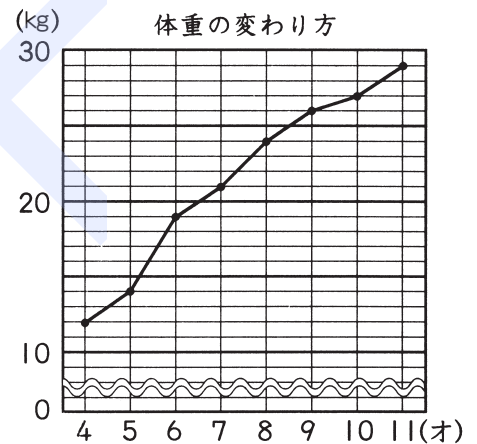
1年間の気温の変わり方

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
気温(度)	6	3	8	15	20	22	27	29	25	19	16	10



3 右のグラフは、ひろしさんの体重の変わり方を毎年3月1日に調べたものです。

- (1) 体重のふえ方がいちばん大きかったのは、何才と何才の間ですか。
- (2) 体重のふえ方がいちばん小さかったのは、何才と何才の間ですか。
- (3) 体重がはじめて20kgをこえたのは、何才のときですか。
- (4) 4才から11才までに何kgふえましたか。



4 折れ線グラフと表

◆表

4 下の記録は、ほけん室のけがの記録です。これを表に整理して、問題に答えなさい。

けがの記録

名前	小林	村田	山田	森	田中	小山	村山	川野	上原	林	野村	大山	原田	合田	林野	中田	大山	野原	糸山	出川	小森	山本
けがをした場所	運動場	体育館	運動場	運動場	運動場	体育館	運動場	運動場	運動場	体育館	教室	ろうか	体育館	体育館	教室	運動場	体育館	ろうか	体育館	体育館	運動場	ろうか
けがの種類	切りきず	すりきず	打ぼく	すりきず	ねんざ	すりきず	すりきず	切りきず	打ぼく	すりきず	打ぼく	すりきず	切りきず	ねんざ	すりきず	切りきず	すりきず	すりきず	切りきず	打ぼく	すりきず	切りきず

けが調べ (人)

場所 種類	運動場	体育館	教室	ろうか	合計
すりきず					
切りきず					
ねんざ					
打ぼく					
合計					

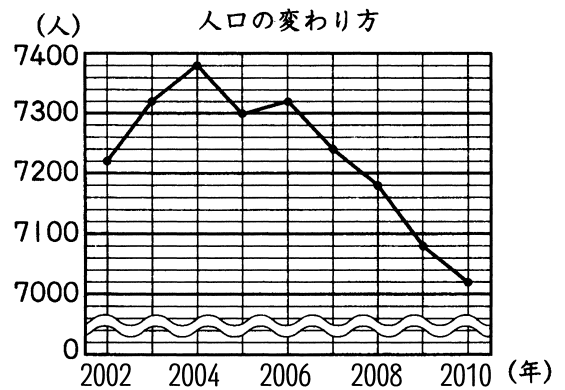
- (1) 教室でけがをした人は何人いますか。
- (2) 切りきずをした人は何人いますか。
- (3) どの場所でけがをした人がいちばん多いですか。
- (4) いちばん人数が多いけがの種類は何ですか。
- (5) 体育館ですりきずをした人は何人いますか。
- (6) 運動場で打ぼくをした人は何人いますか。



練習問題

5 右のグラフは、ある町の人口のうつり変わりを表したものです。

- (1) 2002年の人口は何人ですか。
- (2) 前の年より人口がふえた年は何回ありますか。ただし、2002年はのぞきます。
- (3) 人口のへり方がいちばん大きかったのは、何年と何年の間ですか。
- (4) 2009年と2010年の間にへったのと同じようにへり続けるとすると、2012年の人口は何人になると考えられますか。



6 さとみさんのグループで、朝と夜の歯みがきについて調べ、右のような表にまとめました。

- (1) 朝だけ歯みがきをした人は何人ですか。
- (2) 朝も夜も歯みがきをしなかった人は何人ですか。
- (3) 夜歯みがきをした人は何人ですか。
- (4) 何人について調べましたか。

歯みがき調べ (人)

		朝	
		した	しない
夜	した	11	5
	しない	2	4

7 **発展問題** 白と赤の二等辺三角形と正三角形の色板が19まいあります。次の□の中のことがわかっているとき、赤い二等辺三角形のまい数をもとめなさい。

- ・ 2つの辺の長さが等しい白い三角形の板は5まい。
- ・ 3つの辺の長さが等しい三角形の板は11まい。
- ・ 白い三角形の板は9まい。

形	色		合計
	白	赤	
二等辺三角形			
正三角形			
合計			

2

角の大きさ

★ 学習のポイント

- ① 角の大きさ
- ② 三角形のかき方

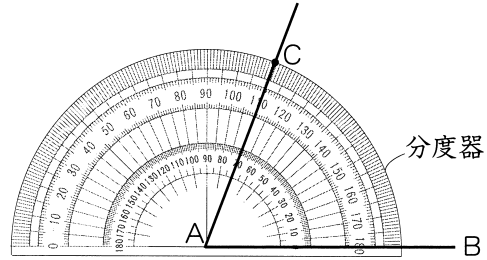
➡ 学習のまとめ

① 角

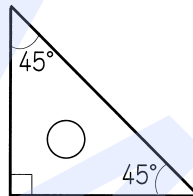
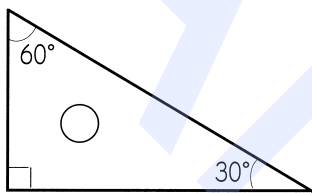
直角を90に等分した1つぶんを1度といい、 1° と書く。
1 直角は 90° となる。

② 角度のはかり方

- (1) 分度器の中心を、角のちょう点Aに合わせる。
- (2) 0° の線を辺ABに合わせる。
- (3) 辺ACと重なっているめもりをよむ。



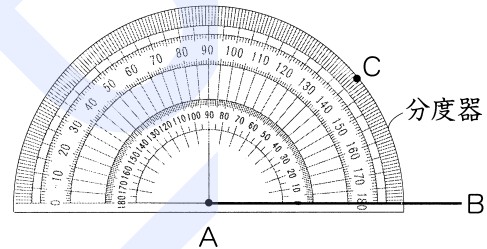
③ 三角じょうぎの角度



④ 角のかき方

例 40° をかく。

- (1) 辺ABをひく。
- (2) 分度器の中心を点Aに合わせ、 0° の線を辺ABに合わせる。
- (3) 40° のめもりのところに点Cをうつ。
- (4) 点Aと点Cを通る直線をひく。

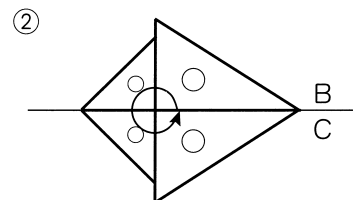
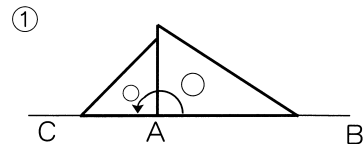


1 【角の大きさ】 次の□にあてはまる数字をかきなさい。

(1) 1 直角は □ 度です。

(2) 右の①のように半回転の角度は □ 直角となり、 □ 度です。

(3) 右の②のように1回転の角度は □ 直角となり、 □ 度です。

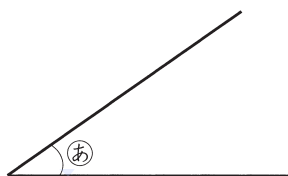


➡➡➡ 次に、いろいろな問題を解きましょう。

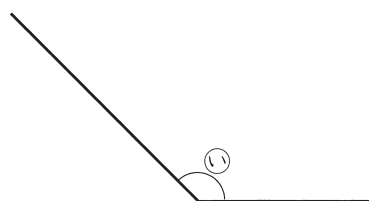
◇角

2 次の㉑～㉕の角度はそれぞれ何度ですか。

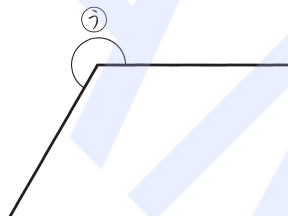
(1)



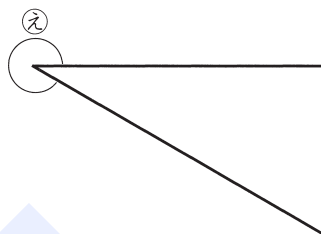
(2)



(3)



(4)



3 次の大きさの角をかきなさい。

(1) 45°

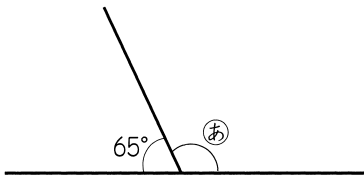
(2) 110°

(3) 280°

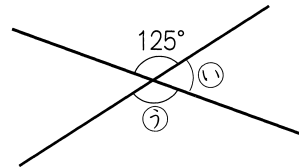
8 角の大きさ

4 次の㊸～㊿の角度はそれぞれ何度ですか。

(1)

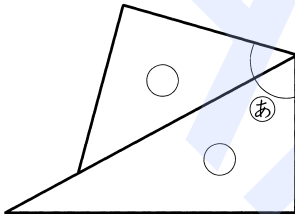


(2)

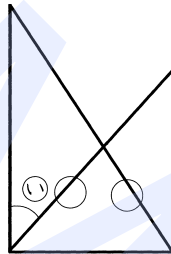


5 次の三角じょうぎを2まい組み合わせてできる㊸～㊿の角度はそれぞれ何度ですか。

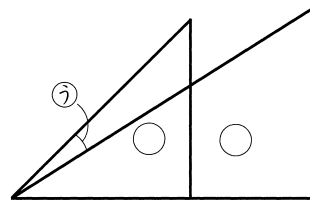
(1)



(2)

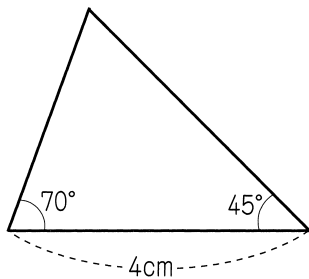


(3)

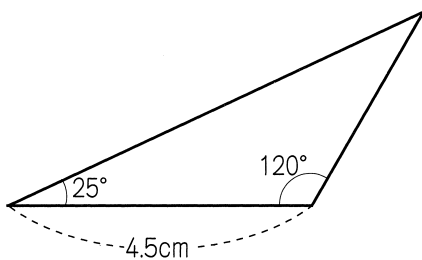


6 次のような三角形をかきなさい。

(1)



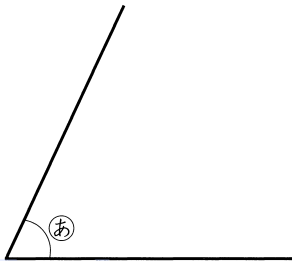
(2)



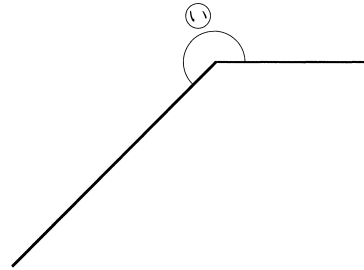
練習問題

7 次の㉞, ㉟の角度を分度器ではかって答えなさい。

(1)

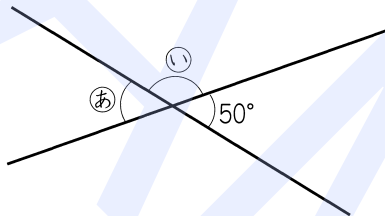


(2)

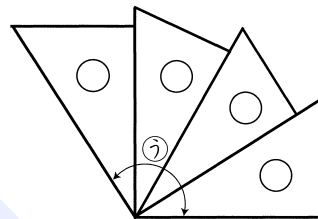


8 次の㉞, ㉟, ㊱の角度を答えなさい。

(1)



(2)

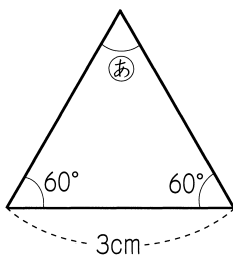


(三角じょうぎを4つならべたもの)

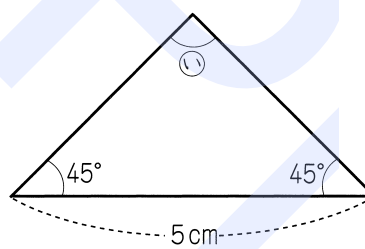
9 次の問いに答えなさい。

(1) 次の三角形をかき, ㉞, ㉟の角度が何度になるかはかって答えなさい。

①



②



(2) ①は何という三角形ですか。

あたま たいそう
頭の体操①

右の例のように, □に計算記号をあてはめて, 正しい式をつくりましょう。必要なときは, かっこも使いましょう。

(例) $5 + 5 - 5 - 5 = 0$

$5 \square 5 \square 5 \square 5 = 1$

$5 \square 5 \square 5 \square 5 = 2$

$5 \square 5 \square 5 \square 5 = 3$

解答

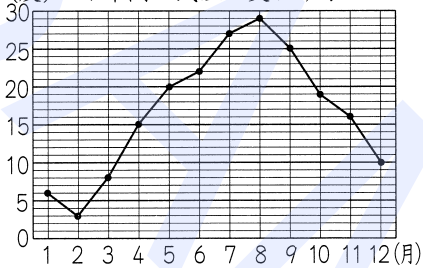
《W小4算数B》

1 折れ線グラフと表

p.2~4

- 1 (1) 午前10時と11時の間
 (2) 午後1時と2時の間
 (3) 午後2時から
 (4) 17度

- 2 (度) 1年間の気温の変わり方



- 3 (1) 5才と6才の間
 (2) 9才と10才の間
 (3) 7才
 (4) 17kg

- 4 けが調べ (人)

場所 種類	運動場	体育館	教室	ろうか	合計
すりきず	下 3	上 4	一 1	下 2	10
切りきず	下 3	上 2	0	一 1	6
ねんざ	一 1	一 1	0	0	2
打ぼく	上 2	一 1	一 1	0	4
合計	9	8	ア 2	3	22

- (1) 2人 (2) 6人
 (3) 運動場 (4) すりきず
 (5) 4人 (6) 2人

解説

- 1 (1) グラフの直線が右上がりていちばん急なところをよむ。
 (2) グラフの直線が平らになっているところをよむ。

- (3) グラフの直線が右下がりになりはじめた時こくをよむ。

3 (4) $29 - 12 = 17$ (kg)

- 4 (1) 解答の表のアの人数をよむ。
 (2) 解答の表のイの人数をよむ。
 (3) 解答の表のいちばん下のだんで、人数がいちばん多いのは9人で運動場。
 (4) 解答の表のいちばん右の列で、人数がいちばん多いのは10人ですりきず。
 (5) 解答の表のウの人数をよむ。
 (6) 解答の表のエの人数をよむ。

p.5

- 5 (1) 7220人 (2) 3回
 (3) 2008年と2009年の間
 (4) 6900人

- 6 (1) 2人 (2) 4人
 (3) 16人 (4) 22人

- 7 3まい

解説

- 5 (1) たてのじくの1めもりは、
 $100 \div 5 = 20$ (人) を表している。
 (4) 2009年から2010年の間に、
 $7080 - 7020 = 60$ (人) へっているから、
 $7020 - 60 - 60 = 6900$ (人) になると考えられる。
 6 (3) $11 + 5 = 16$ (人)
 (4) $11 + 5 + 2 + 4 = 22$ (人)
 7 わかっているまい数を表にかきこむと、次のようになる。

形 \ 色	白	赤	合計
二等辺三角形	5	ア	1
正三角形			11
合計	9		19

表のアのまい数を求めるから、イのまい数

がわかればよい。

イ(二等辺三角形のまい数)… $19 - 11 = 8$

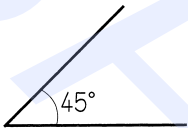
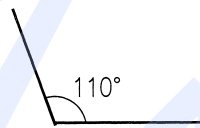
ア… $8 - 5 = 3$ (まい)

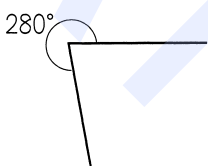
2 角の大きさ

p.6~8

- 1 (1) 90 (2) 2, 180
(3) 4, 360

- 2 (1) 35度 (2) 135度
(3) 240度 (4) 330度

- 3 (1)  (2) 

- (3) 

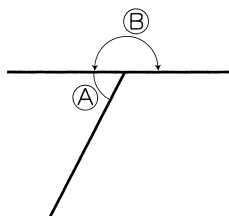
- 4 (1) Ⓐ 115度 (2) Ⓒ 55度 Ⓓ 125度

- 5 (1) 105度 (2) 45度
(3) 15度

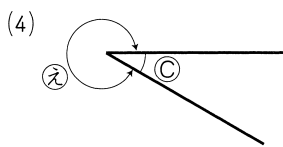
6 略

解説

2 (3)



左のように線を延長して①をA, Bに分ける。Aの角度を分度器ではかると60度となるので、 $180^\circ + 60^\circ = 240^\circ$

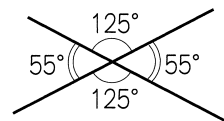


Ⓒの角度を分度器ではかると30°となるので、Eの角度は $360^\circ - 30^\circ = 330^\circ$

- 4 (1) $180^\circ - 65^\circ = 115^\circ$
(2) Ⓒ $180^\circ - 125^\circ = 55^\circ$
Ⓓ $180^\circ - 55^\circ = 125^\circ$

参考

2本の直線が交わっているとき、向かいあった2組の角の大きさは等しくなる。



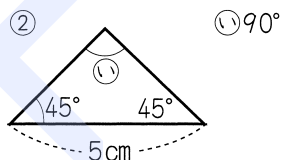
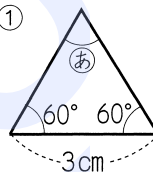
- 5 (1) $60^\circ + 45^\circ = 105^\circ$
(2) $90^\circ - 45^\circ = 45^\circ$
(3) $45^\circ - 30^\circ = 15^\circ$

p.9

- 7 (1) 65度 (2) 225度

- 8 (1) Ⓐ 50度 Ⓒ 130度
(2) 120度

- 9 (1) ① Ⓐ 60°



(2) 正三角形

- ◆頭の体操① (例) $5 \times 5 \div 5 \div 5 = 1$
 $5 \div 5 + 5 \div 5 = 2$
 $(5 + 5 + 5) \div 5 = 3$

解説

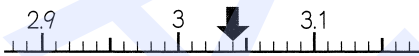
- 8 (2)大きさが30度である角が4つならんで
いるので $30 \times 4 = 120^\circ$
- 9 (2)角の大きさがすべて同じなので正三角形
となる。

参考 正三角形の角の大きさはすべて60
度になる。

3 小数

p.10~12

- 1 (1)0.01m
(2)ア 2.87m イ 2.95m
 ウ 3.11m
(3)



- 2 (1)0.01 (2)27.3
(3)0.273 (4)273こ
- 3 (1)1.25 (2)4.678
(3)3, 0, 9, 2
- 4 (1)①0.08 ②0.54
 ③2
(2)①21こ ②730こ
 ③5000こ
- 5 0, 0.14, 0.6, 0.872, 1.09
- 6 (1)10倍 : 9.3 100倍 : 93
 $\frac{1}{10}$: 0.093
(2)100倍
- 7 (1)4.45 (2)28.01
(3)4.406 (4)0.8
(5)10.86 (6)18.47
- 8 (1)1.91 (2)0.78
(3)0.74 (4)60.94
(5)0.006 (6)1.957
- 9 1.17m
- 10 2.741kg
- 11 3.22cm

解説

- 1 (1)0.1を10等分した数直線なので、1めも
りは0.01
- 3 (2)4, 0.6, 0.07, 0.008を合わせた数に
なります。

4 (1)②

$$0.01 \text{ が } 54 \text{ こ} \left\{ \begin{array}{l} 50 \text{ こ} \rightarrow 0.5 \\ 4 \text{ こ} \rightarrow 0.04 \end{array} \right\} 0.54$$

(2)②

$$0.73 \left\{ \begin{array}{l} 0.7 \rightarrow 0.001 \text{ が } 700 \text{ こ} \\ 0.03 \rightarrow 0.001 \text{ が } 30 \text{ こ} \end{array} \right\} 730 \text{ こ}$$

- 5 一の位と、 $\frac{1}{10}$ の位をじゅんにくらべる。

- 6(1)
- 小数点を
- 右に1つつす → 10倍
 - 2つつす → 100倍
 - 左に1つつす → $\frac{1}{10}$

- 7 筆算をするときは、位をたてにそろえて書
く。和に小数点をうつのを忘れないようにする。

$$\begin{array}{r} (4) \ 0.085 \\ + 0.715 \\ \hline 0.800 \end{array} \qquad \begin{array}{r} (5) \ 9.36 \\ + 1.5 \\ \hline 10.86 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} (3) \ 0.9 \\ - 0.16 \\ \hline 0.74 \end{array} \qquad \begin{array}{r} (6) \ 2 \\ - 0.043 \\ \hline 1.957 \end{array}$$

- 9 $0.54 + 0.63 = 1.17$ (m)
- 10 $4 - 1.259 = 2.741$ (kg)
- 11 $18 \div 2 = 9$ $9 - 5.78 = 3.22$ (cm)

p.13

- 12 (1)0, 9, 7 (2)9.7, 0.097
- 13 (1)2.1 (2)0.389
- 14 (1)16.23 (2)4.38
(3)9.27 (4)13.54
- 15 0.958 16 9.36kg

解説

- 13 (1)一の位をくらべる。
(2) $\frac{1}{100}$ の位をくらべる。
- 14 (1) $8.54 + 1.46 - 0.73 = 10 - 0.73$
 $= 9.27$